

情報かわら版



- ▶ **アルビレックス新潟 若手選手 ルレクチエの摘果に挑戦!**
- ▶ **第4回北陸農政局食育活動表彰 受賞事例のご紹介**
- ▶ **米の生産者に向けた生産意向アンケート**
- ▶ **ディスカバー農山漁村の宝アワード 応募受付中!**
- ▶ **熱中症対策パンフレット&熱中症対策関連情報集**
- ▶ **新大コシヒカリ 播種作業実演会**

今月の表紙：ルレクチエ（新潟市南区）

電子版はこちら

北陸農政局新潟県拠点





アルビレックス新潟の若手選手が ルレクチエの摘果に挑戦しました！

5月28日（水）にアルビレックス新潟の大竹優心選手（19歳）と内山翔太選手（18歳）が、新潟市南区の白根グレープガーデンにおいて、新潟を代表する果物「**ルレクチエ**（西洋なし）」の摘果作業を行いました。

アルビレックス新潟が実施している「**AGRIREX（アグリレックス）**※」の活動日は、晴天が続いているそうですが、この日も汗ばむ陽気の中、アルビレックス新潟の後援会会員の皆様と一緒に行われた活動の様子取材しました。

摘果（てきか）とは、たくさんなっている実を、自分の目を見て「どれがおいしくてきれいな**ルレクチエ**になるかな～」と確認しながら、厳選して間引き、最終的に商品となる実を1つだけ残していく大事な作業です。

白根グレープガーデンのスタッフさんから、摘果作業のポイントを教えていただき、作業開始です！

～ 摘果作業のポイント ～

- ① 一番**大きな実**を残す
- ② 一番**形がきれいな実**を残す
- ③ **キズやしみが**ない実を残す



▲ 実は葉っぱと同じ色で小さいため見落とししてしまうことも多いそうです



▲ 摘果作業前



▲ 選別された不要な実

▼ 不要な実は地面に落とします



「**ルレクチエ**」は摘果時の形状のまま大きくなるので、小さい時にキズがあると、大きくなってからかさぶたみたいに残ってしまうそうです。黒色・茶色のキズやしみが付いているものは、実が大きくなってからも取っていきます。



▲チーム一の長身（190cm）内山選手
腰がつかうそうです



▲こどもたちと楽しく作業する大竹選手

風に弱く、実が
落下しやすいとい
う**ルレクチエ**。

摘果作業も、実
の付け根を人差し
指で軽く押すだけ
で簡単に枝から取
れました。



▲ 摘果作業後

摘果が終わると、
病気や害虫などの
被害やしみを防ぐ
ため、口ウが付い
た専用の袋で1つ
ずつ覆う「袋が
け」を行い、10月
中～下旬の収穫ま
で待ちます。

～ 作業を終えての感想をお聞きました～

内山選手（写真左）

見えないところでの努力の大切さは、
サッカーも農業も通じていると思いました。

大竹選手（写真右）

実を落として一つにしぼるのは心苦しい
ものがありましたが、おいしくなってく
れるといいです。

※「**AGRIREX（アグリレックス）**」とは

アルビレックス新潟が実施している農業体
験教育です。農業体験を児童・生徒ならびに
アルビレックス新潟の選手の人材育成に活か
し、地域への理解を深め、愛着心を育むこと
を目的に、2024年から実施しています。



内山選手（左）と大竹選手（右）

今回の摘果作業をとおして、農業もサッカーも人に見えない裏側の努力が
大切であると分かったという内山選手と大竹選手。おいしい「**ルレクチエ**」
ができること、また、新潟市出身のお二人の今後の活躍が楽しみです！



第4回北陸農政局食育活動表彰

～北陸農政局長 受賞事例のご紹介～

北陸農政局は、管内における食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに取組の内容を広く周知し、管内の食育活動の更なる推進を目的として、「北陸農政局食育活動表彰」を実施しています。

令和7年6月10日、金沢広坂合同庁舎において「第4回北陸農政局食育活動表彰」表彰状授与式が行われ、新潟県内からは、「S-N For all children」と「新潟スポーツ栄養サポートグループ」さんが北陸農政局長賞を受賞しました。

えすえぬ フォー オール チルドレン

S-N※ For all children

【活動期間 16年】

新潟医療福祉大学健康科学部栄養学科 中村ゼミの子ども達への食育活動

すべての子ども達の成長に合わせた食育活動を行っています。幼児への食育劇や、高校の運動部へのサポート活動等、**大学での専門的な学びを生かした取組**を行っています。

また、小学校と連携して「弁当の日」を16年間継続して実施するほか、児童発達支援センター・放課後等デイサービスでの食育にも力を入れています。



※S…スマイル N…中村ゼミ

新潟スポーツ栄養サポートグループ

【活動期間 22年】

新潟県内の多世代対象の 食育・スポーツ栄養の普及活動

スポーツ栄養の知識と実践方法を若者から高齢者まで分かりやすく伝え、現代社会のニーズに合わせた食支援を行っています。

また、**米飯食や米粉の活用**など米をしっかり摂取出来るようなレシピ提供、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事がより簡単に出来るレシピ提供などを行っています。



↓詳細は、以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/syouan/attach/pdf/250515-1.pdf>



食育を推進する優れた取組を募集します！ ～「第10回食育活動表彰」候補の募集開始について～

農林水産省は、ボランティア活動、教育活動又は農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じて食育を推進する取組を募集します。

優れた取組は、令和8年6月6日（土曜日）に開催される「第21回食育推進全国大会」で表彰する予定です。

募集の対象

食育に関するあらゆる取組が応募の対象です

募集締切

令和7年8月29日（金曜日）必着

推薦方法

推薦調書及び詳細は、以下の農林水産省ホームページから専用の推薦調書をダウンロードしてご記入ください。

農林水産省ホームページ/第10回食育活動表彰

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/10th/boshu.html>

食育活動を行っている
皆さま、ご応募を
お待ちしております！



「大人の食育」を推進する官民連携食育プラットフォームを創設 ～ 参画企業を募集します！ ～

農林水産省では、大人の消費者の皆さんに、改めて食や農に対する理解を深めていただき、健康的な食事をとって、楽しい食の時間を過ごしていただくとともに、食卓と生産現場とのつながりのある社会を目指して、民間企業等の皆さんと連携して「大人の食育」を推進する体制（プラットフォーム）をスタートします！

本プラットフォームに参画いただける企業等を広く募集します！

官民連携食育プラットフォーム

会員募集中！

農林水産省 × **食育に取り組む企業等**

農林水産省では、大人の消費者の皆さんに、改めて食や農に対する理解を深めていただき、健康的な食事をとって、楽しい食の時間を過ごしていただくとともに、食卓と生産現場とのつながりのある社会を目指して、民間企業等の皆さんと連携して「大人の食育」を推進する体制（プラットフォーム）をスタートします！
本プラットフォームに参画いただける企業等を広く募集します！

具体的な取組は裏面へ！>>>

お申込みはこちら>>>

食育に取り組む企業等
であれば
どなたでも
参加可能！

食生活を豊かで健康的なものとし、楽しい食の時間を創出しながら、生産現場とつながりのある食卓を実現するために一緒に取り組んでいきましょう！

【お問合わせ先】
官民連携食育プラットフォーム事務局
（農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課内）
TEL：03-6738-6557

農林水産省

会員の募集

食育に取り組む企業等の皆さんであれば、どなたでも参加が可能です。食育に取り組む企業等と情報交換や研究会なども行う予定です。

食生活を豊かで健康的なものとし、楽しい食の時間を創出しながら、生産現場とつながりのある食卓を実現するために一緒に取り組んでいきましょう。

～官民連携食育参画申込フォームはこちら～

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/syouan/hyoji/otona_syokuiku.html

【お問合わせ先】

官民連携食育プラットフォーム事務局
（農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課内）
TEL：03-6738-6557

農林水産省HPプレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/250530.html>



米の生産者の皆様に向けた今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向に関するアンケート調査について

農林水産省は、今後の米政策を検討するにあたり、米の販売農家・農業法人その他経営体の皆様へ今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向に関するアンケート調査を実施いたします。

1.調査の目的

令和9年度（2027年度）から実施する水田政策の見直しを含め、今後の米政策を検討するに当たっては、米生産者の皆様の声を聴くことが不可欠です。

このため、全ての米の生産者の皆様（※）を対象に、今後（来年、5年後、10年後）米の生産意向に関する調査を実施することとします。

※米の販売農家・農業法人その他経営体

2.調査の概要

（主な調査項目）

- ・現在の経営状況（年齢、水稻作付面積、うち主食用米作付面積等）
- ・今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向（拡大、現状維持、縮小等）
- ・拡大・生産継続するに当たっての課題
- ・自らの生産コストの把握状況など

（調査手法） インターネット上のフォームを用いたアンケート

（調査期間） 令和7年6月19日（木曜日）から令和7年7月31日（木曜日）まで

農林水産省HPプレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/250619.html>



（アンケートURL）

<https://forms.office.com/r/8mhBjG9n0i>



「情報かわら版6月号」裏表紙もご覧ください

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」募集開始！

～地域の活性化や所得向上につながる農山漁村の取組事例を募集します！～

農林水産省は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現を推進しています。「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信し、他地域への波及を図る取組です。本年も、他の地域の参考となるような素晴らしい取組事例を募集します。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設Webサイトでの活動の紹介などにより全国的に情報発信します。

【特設WEBサイト】

<https://www.discovermuranotakara.com/>

募集取組

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生
- ③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現



募集期間 令和7年6月2日（月曜日）から 令和7年8月12日（火曜日）まで

農林水産省HPプレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/250602.html>



熱中症対策パンフレット&熱中症対策関連情報集

～農作業中の熱中症を予防しましょう!!～

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきています。熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です。

農林水産省ホームページに、**熱中症対策パンフレット**及び**熱中症対策関連情報集**を掲載していますので、ぜひ、ご活用ください。

↓詳細は、以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html



○ 熱中症対策研修テキスト

熱中症の危険性 ▶ 後遺症が残る場合も

熱中症の危険性、理解していますか？

熱中症の症状が進行すると、**死亡することもあるほか、脳にダメージを与え、長期にわたり後遺症が残る**可能性もあります。

熱けいれん
熱疲労
熱失神

症状の進行

熱射病
意識障害
昏睡状態
嘔吐
集中力
判断力の低下

後遺症へ

めまい
頭痛
倦怠感
等々...

後遺症を残さないためには**熱中症の予防・対策が重要**です
熱中症かなと思ったら、すぐに応急処置を行いましょう！
→熱中症について、本テキストでしっかり学びましょう！

農作業中の熱中症対策 ▶ 単独作業は避ける 熱中症対策アイテムの活用

単独作業は避ける

- ・熱中症になってしまった際、早期発見、対処が大切です。
- ・できるだけ単独での作業は避けましょう。単独で作業する場合も、家族や従業員等が定期的に巡回を行うことにより、定期的に確認できる環境で作業しましょう。

熱中症対策アイテムの活用

- ・農業は暑い環境で作業することが多く、熱中症リスクの高い業種です。
- ・熱中症対策として、アイテムを活用することでリスクを下げることができます。
- ・具体的なアイテムと活用方法は次のページ以降で！

○ 農業者のみなさまへ

熱中症対策パンフレット

○ 推進機関のみなさまへ

熱中症対策関係情報集

農作業中の熱中症を予防しましょう!!

農業者のみなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。
熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

*** 農作業中の熱中症 ***

毎年、約**30**名の方が農作業中の熱中症により**死亡**

死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生

農作業中の熱中症による死亡者数(月別)

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
死亡者数	2	7	9	14	111	109

過去10年の死亡者数計 **259**名

*** 予防のポイント ***

暑さを避ける
高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所での作業

こまめな休憩と水分補給
喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給

単独作業は避ける
複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う

熱中症対策アイテムの活用
帽子や吸汗速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用

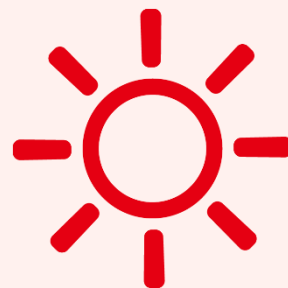
そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

熱中症対策
作業中に気をつけること

農作業中の熱中症対策チェック

- ☒ **高温時の作業は避けましょう**
一般的に70歳以上の方は、のどのかきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯を外して作業しましょう。
- ☒ **単独作業は避けましょう**
なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、連絡がないか確認しあうようにしましょう。
- ☒ **20分おきに休憩&水分補給しましょう**
涼しい日陰などで作業を休み、体温を下げましょう。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう。



農林水産省

新大コシヒカリ 播種作業実演会に参加してきました

令和7年5月20日（火）、燕市内で行われた「新大コシヒカリ播種作業実演会」に参加しました。実演会では、畦畔除草剤散布ドローンによるデモ飛行、ドローン及び直播機による「新大コシヒカリ」、「にじのきらめき」の播種作業実演が行われました。

また、新潟大学特任教授の三ツ井氏の講演「新大コシヒカリ「これまで」と「これから」」、株式会社アグリシップの佐藤氏の取組報告「スマート農業と新大コシヒカリ」など、大変興味深いお話を聞くことが出来ました。

～実演会の様子～



▲ドローンによる畦畔除草剤（液剤）散布



実演会に参加した農業者は「スマート農業技術の導入により作業の効率化や省力化につながればよい」と話されていました。

スマート農業技術等の活用や新品種の開発などによる生産性の向上が期待されます。



▲ドローンによる直播



▲直播機（田植え機）直播



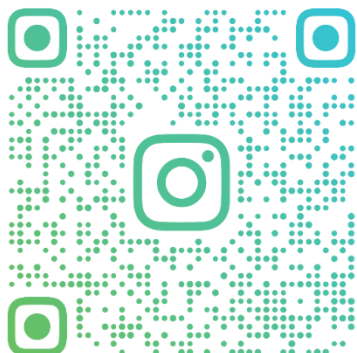
▲スリップローラーシーダーによる水稻乾田直播



三ツ井氏の講演会では、高温登熟耐性品種の開発、「新大コシヒカリ（品種名：コシヒカリ新潟大学NU1号）」の特性、NU1号を用いた環境にやさしいコメづくりの試みについてお話がありました。

中干し期間延長の影響を、NU1栽培において調べたところ、水田からの温室効果ガスメタンの排出量は顕著に低減され、NU1号米の品質にも良い影響をもたらす可能性が示唆されたとの説明がありました。

北陸農政局 Instagramで情報発信中！



HOKURIKU_MIDORI

北陸農政局公式Instagramにて、
みどり戦略を分かりやすく知って
もらうための情報発信を行っています！
ぜひ一度覗いてみてください♪

編集後記

アルビレックス新潟の若手選手と行った「ル レクチエの摘果作業」では、初めて「ル レクチエのこども」を見ましたが、とてもかわいらしく、捨ててしまうのがもったいなく感じました。
秋には、選別され美しく大きく育った「ル レクチエ」の収穫作業を取材予定です！！



お問い合わせ



北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>



＼ 米の生産者の皆様へ ／

今後の米の生産意向に関する アンケート調査にご協力をお願いします

農林水産省では、今後の米政策を検討するに当たり、全ての米生産者の皆を対象に、今後（来年、5年後、10年後）の米の生産意向に関するアンケート調査を行います。我が国の今後の米生産のあり方を考えていくためには、米生産者の皆様の声が不可欠と考えています。一人でも多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

ご回答はこちら ▼



米の生産意向に関するアンケート調査



調査期間 2025年7月31日(木) まで

お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課

担当者：山本、松尾

TEL：03-3502-8111（内線3087）／ダイヤルイン：03-3502-8448